

大和町第五次総合計画に基づく実施計画(前期計画)重点プロジェクト
(まち・ひと・しごと創生総合戦略)事業の令和6年度の実施状況について

令和6年11月

大和町まちづくり政策課

目次

1. 概要	1
2. 重点プロジェクト(総合戦略)の体系	1
3. 重点プロジェクト(総合戦略)の事業評価	2
4. 重点プロジェクト(総合戦略)評価シート	3
基本目標1. 大和町の立地条件・資源を活かし、安心して働ける地域をつくる	3
① 農業環境整備事業	4
② 農業生産基盤整備事業	5
③ 割増商品券発行事業	6
④ 地域産業支援事業	7
⑤ 企業立地奨励事業	8
⑥ 企業誘致事業	9
⑦ 雇用機会掘り起し事業	10
⑧ 中心市街地整備事業(吉岡西部土地区画整理事業)	11
基本目標2. 大和町への新しいひとの流れをつくる	12
⑨ 吉岡小学校改築事業	13
⑩ 学校ICT環境整備事業	14
⑪ 子育て支援住宅整備事業	15
⑫ 子育て世帯等移住・定住応援事業	16
⑬ 高等学校等通学応援事業	17
⑭ 奨学金返還支援事業	18
⑮ ひとづくりプロジェクト	19
⑯ 各種検定料助成事業	20
基本目標3. 大和町における結婚・出産・子育ての希望をかなえる	21
⑰ 縁結び応援事業	22
⑱ 地域福祉活動活性化事業	23
⑲ あんしん子育て医療費助成事業	24
⑳ 第3子以降の育児支援事業	25
㉑ 出産祝い品贈呈事業	26
㉒ 病後児保育事業	27
㉓ 高齢者福祉事業	28
㉔ 障害者自立支援給付・地域生活支援事業	29
㉕ 健康増進事業	30
㉖ 児童支援センター運営事業	31
㉗ みんなで遊び場どうじょ	32
基本目標4. ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる	33
㉘ にぎわい創出事業	34
㉙ セツ森湖周辺再整備事業	35
㉚ 歴史資源を活用した観光PR活動	36
㉛ 県営林道整備事業負担金	37
㉜ スポーツ振興事業	38
㉝ まちづくり人材育成事業	39
㉞ 公共下水道施設(汚水)のアセット(ストック)マネジメント及び耐震化の推進	40
㉟ 水害減災プロジェクト	41
㊱ 田んぼダム推進事業	42
㊲ 防犯対策推進事業	43
㊳ 公共施設の適正管理(公共施設の長寿命化など)	44
5. 重点プロジェクト(総合戦略)事業の重要業績評価指数(KPI)実績一覧	45
6. (参考)大和町各種統計資料	47

1. 概要

本町では、人口減少及び少子高齢化の進行に対応するとともに、首都圏等への過度な人口の集中を抑制することで、それぞれの地域で住みよい環境を確保し、将来にわたって活力ある社会を維持していく「地方創生」への取組を促進するため、平成28年2月に「大和町まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下、「総合戦略」という。)」を策定しました。

令和4年3月には総合戦略を「重点プロジェクト」として包括した「大和町第五次総合計画」を策定し、「七ツ森の輝く緑 元気なくらしが広がる 大和町 ～しあわせめぐるまち たいわ～」の将来像の下、元気とにぎわいが町全体にあふれていくことを目指したまちづくりを進めているところです。

重点プロジェクト(総合戦略)は、将来のまちづくりを創造する重要な計画で、掲載されている事業については着実に実施するとともに、毎年、数値目標等を基に効果を検証し、必要に応じて総合戦略を改訂することを国から求められています。これを受けて町では、毎年総合計画審議会にて事業の評価・検証を行い、進行管理(PDCAサイクル)を実施していきます。

2. 重点プロジェクト(総合戦略)の体系

基本目標1:大和町の立地条件・資源を活かし、安心して働ける地域をつくる

(1)農山村にぎわい醸成プロジェクト(2事業)

- ▷ 農業環境整備事業
- ▷ 農業生産基盤整備事業

(2)新たな活力創出プロジェクト(6事業)

- ▷ 割増商品券発行事業
- ▷ 地域産業支援事業
- ▷ 企業立地奨励事業
- ▷ 企業誘致事業
- ▷ 雇用機会掘り起し事業
- ▷ 中心市街地整備事業

基本目標2:大和町への新しい人の流れをつくる

(1)交流促進プロジェクト(6事業)

- ▷ 吉岡小学校改築事業
- ▷ 学校ICT環境整備事業
- ▷ 子育て支援住宅整備事業
- ▷ 子育て世帯等移住・定住応援事業
- ▷ 高等学校等通学応援事業
- ▷ 奨学金返還支援事業

(2)子どもまちづくりプロジェクト(2事業)

- ▷ ひとづくりプロジェクト
- ▷ 各種検定料助成事業

基本目標3:大和町における結婚・出産・子育ての希望をかなえる

(1)安心生活サポートプロジェクト(9事業)

- ▷ 縁結び応援事業
- ▷ 地域福祉活動活性化事業
- ▷ あんしん子育て医療費助成事業
- ▷ 第3子以降の育児支援事業
- ▷ 出産祝い品贈呈事業
- ▷ 病後児保育事業
- ▷ 高齢者福祉事業
- ▷ 障害者自立支援給付等事業
- ▷ 健康増進事業

(2)子どもの居場所づくりプロジェクト(2事業)

- ▷ 児童支援センター運営事業
- ▷ みんなで遊び場どうじょ

基本目標4:ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

(1)にぎわい創出プロジェクト(6事業)

- ▷ にぎわい創出事業
- ▷ 七ツ森湖周辺再整備事業
- ▷ 歴史資源を活用した観光PR活動
- ▷ 県営林道整備事業負担金
- ▷ スポーツ振興事業
- ▷ まちづくり人材育成事業

(2)安全で安心できるまちづくりプロジェクト(5事業)

- ▷ 公共下水道施設のアセットマネジメント及び耐震化の推進
- ▷ 水害減災プロジェクト
- ▷ 田んぼダム推進事業
- ▷ 防犯対策推進事業
- ▷ 公共施設の適正管理等

3. 重点プロジェクト(総合戦略)の事業評価

1) 重要業績評価指数(KPI)

KPI(Key Performance Indicator)とは、目標達成に向けた定量的な指数です。当該総合戦略では、計38事業中34事業について、事業実施による成果に関する指標を設定し、それを実績と対比することで、事業の評価・検証をしています。

2) KPIの基準値(令和元年度)及び目標値(令和8年度)

KPIの評価については、中長期的な視点で捉えることとして、基準値(令和元年度)を本町が地方創生に取り組んだ平成27年度から令和元年度までの累計値と設定しています。同じく、目標値(令和8年度)については、平成27年度から令和8年度までの累計値としています。

なお、下記のとおり、実績の累計が馴染まないKPIについては、単年度での評価としています。

3) 事業評価

KPIの実績等を踏まえ、下記評価基準を参考に事業評価を行っています。基本は「単年度(a)」による評価としますが、事業の実施状況やKPIの性質、目標年度(R8)に対する達成度合いを踏まえ「累計(b)」による評価若しくは基準に関わりのない評価としています。

【評価基準】

KPI実績(達成度)		評 価
単年度(a)	累計(b)【3/5ヶ年】	
35%以上	75%以上	A: 予定を大きく上回り達成できた
25%以上35%未満	65%以上75%未満	B: 予定以上に達成できた
15%以上25%未満	55%以上65%未満	C: 予定通り達成できた
5%以上15%未満	45%以上55%未満	D: あまり達成できなかった
5%未満	45%未満	E: ほとんど達成できなかった

4) 取組方針

事業及びKPIの実績や事業実施による効果、改善すべき課題等を踏まえ、次年度以降の取組方針を下記より選定しています。

【取組方針】

方 針
A: 積極的な拡充・強化
B: 拡充継続
C: 継続
D: 縮小継続
E: 完了・廃止

4. 重点プロジェクト(総合戦略)評価シート

重点プロジェクト評価シート〔総括表〕

基本目標	1. 大和町の立地条件・資源を活かし、安心して働ける地域をつくる				
内容	豊かな町土を良好に維持しながら、企業誘致の強化と交通条件等の優位性を活かした産業の集積を図るとともに、新規起業の創出を促進し、多様な事業活動ができるまちをつくる。				
数値指標	製造業従業者数(宮城県工業統計調査)			単位:人	
現状値/目標値	基準値【R1】	8,119人	/	目標値【R8】	11,900人
実績値	R4:8,677人	R5:9,057人	R6:9,415人	R7: 人	R8: 人

プロジェクト名	(1)農山村にぎわい醸成プロジェクト				
内容	農業生産基盤等の充実とともに、6次産業化推進に向けた支援や外部からの来町者、新規就農者の獲得を目指し、農業の活性化によるにぎわいのあるまちをつくる。				
総括	C:予定通り達成できた				
プロジェクトを構成する事業	①農業環境整備事業(p4)	達成率	-39.3%	事業評価	C
	②農業生産基盤整備事業(p5)	達成率	-295.8%	事業評価	C
		達成率		事業評価	
		達成率		事業評価	

プロジェクト名	(2)新たな活力創出プロジェクト				
内容	産業の集積を引き続き推進するとともに、空き家・空き店舗などを活用した新規起業への支援など多様な就業機会を創出し、活力ある産業のまちづくりに取り組む。				
総括	C:予定通り達成できた				
プロジェクトを構成する事業	③割増商品券発行事業(p6)	達成率	120.0%	事業評価	C
	④地域産業支援事業(p7)	達成率	118.2%	事業評価	A
	⑤企業立地奨励事業(p8)	達成率	150.0%	事業評価	C
	⑥企業誘致事業(p9)	達成率	100.0%	事業評価	C
	⑦雇用機会掘り起し事業(p10)	達成率	147.6%	事業評価	B
	⑧中心市街地整備事業(吉岡西部土地 区画整理事業)(p11)	達成率	57.1%	事業評価	C

※ 総括及び事業評価凡例

A:予定を大きく上回り達成できた, B:予定以上に達成できた, C:予定通り達成できた,

D:あまり達成できなかった, E:ほとんど達成できなかった

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	1. 大和町の立地条件・資源を活かし、安心して働ける地域をつくる
プロジェクト名	(1) 農山村にぎわい醸成プロジェクト
事業名	① 農業環境整備事業
所管課	農林振興課
事業概要	農地の効率的な利用を推進し、生産性の高い農業を確立するために農業生産基盤環境の維持補修や整備に対する費用の一部を助成するもの。
事業の効果等	<p>農作業の効率化を図るため、畦畔の撤去、田面均平作業等及び農業用道水路の簡易的な整備について農家及び農業関係組織、水利組合等に農業生産基盤の整備を支援することで作付け条件向上が図られる。</p> <p>農地の効率的な利用と農業用施設及び農業周辺環境の維持管理が適正に行われることが期待され、荒廃農地の発生防止にも寄与している。</p> <p>○令和6年度申請件数:51件 令和7年度申請件数:14件(9/14現在)</p>

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		水田における作付率				単位:%
基準値／目標値		基準値【R1】(A) 92.2%		／	目標値【R8】(B) 95%	
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	91.3%	90.7%	91.1%		
	達成率 (C-A/B-A)	-32.1%	-53.6%	-39.3%		
累計	実績値(D)	-	-	-	-	-
	達成率	-	-	-	-	-
実績に対する所見等		<p>耕作条件が改善しているが、農業者の高齢化や担い手の減少が進んでおり、作付率の低下が見られる。また、吉岡西部土地区画整理事業による作付け制限や、大豆・そばの作付けとして播種したものの、その後の天候不順による生育不良のため、自己保全管理となった面積の増加により作付率が低下した。</p> <p>評価基準からすると事業評価は「E」となるが、予算上では95.4%と高い執行率であり、農家や水利組合等からの問い合わせも多く、関心の高い事業である。耕作条件の改善や不作付地の発生防止に寄与していることから、「C」としている。</p>				
事業の課題・改善内容等		令和5年度から田んぼダム推進のための排水口整備分を追加措置した。				
事業評価 ※1		C: 予定通り達成できた		取組方針 ※2	C: 継続	

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	1. 大和町の立地条件・資源を活かし、安心して働ける地域をつくる
プロジェクト名	(1) 農山村にぎわい醸成プロジェクト
事業名	② 農業生産基盤整備事業
所管課	農林振興課
事業概要	<p>農地の再整備を行い集積し、担い手農家の確保・育成と中山間地域での農業経営者の所得向上を図るもの。</p> <p>吉田地区土地改良事業として農業生産基盤整備事業と連携したICT化(スマート農業)を推進することで農業経営の大規模化を促進し、作業効率の向上を図り、高収益作物を含めた複合経営(野菜の直売等)を推進することで農業経営者の所得向上を図るもの。</p> <p>吉田川流域国営土地改良事業の促進を図るもの。</p>
事業の効果等	<p>吉田地区の山間地の農地を整備することで、1集落1農業法人の設立を目標にして、稲作と園芸を組み合わせ、担い手への農地の集積・集約を図りながら所得向上を図るもの。</p> <p>吉田川流域国営土地改良事業については流域治水の取り組みと併せて、2市3町の19箇所の排水機場において、一斉に排水施設の機能向上や再編整備を行い一元管理することにより、人家や農地の湛水被害軽減と維持管理軽減を図り、町民の生命と財産の安全、農業生産性の向上及び農業経営の安定に資するもの。</p>

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		農地集積率(水田ビジョン)				単位:%
基準値/目標値		基準値【R1】(A) 77.6%		目標値【R8】(B) 80%		
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	77.6%	78.2%	70.5%		
	達成率 (C-A/B-A)	0.0%	25.0%	-295.8%		
累計	実績値(D)	-	-	-	-	-
	達成率	-	-	-	-	-
実績に対する所見等		<p>金取北地区の農地1,885aが担い手に集積される。</p> <p>評価基準からすると事業評価は「E」であるが、麓下地区内での協議不調によるものであり、現在、地区内の担い手を後継者世代へと変更して話し合いを継続中であるため「C」としている。</p>				
事業の課題・改善内容等		<p>吉田地区には土地改良区がないので大和町土地改良区と編入時期、賦課金等について、引き続き協議が必要となる。</p> <p>吉田川流域国営土地改良事業については、令和5年度から国営事業調査地区の採択となり、町内4排水機場の改修については、受益者負担無しで事業が行われている。</p>				
事業評価 ※1		C: 予定通り達成できた		取組方針 ※2		C: 継続

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	1. 大和町の立地条件・資源を活かし、安心して働ける地域をつくる
プロジェクト名	(2) 新たな活力創出プロジェクト
事業名	③割増商品券発行事業
所管課	商工観光課
事業概要	<p>大和町経済の発展と消費の町外流出防止策として割増商品券の発行事業を行う。大和町商店街は、住民の減少や高齢化の進行による購買力の減退のほか、郊外型店舗の進出により商店街の衰退が顕著になってきている。</p> <p>このような中、町内商店街で使用できる割増商品券を発行することにより町外での購買流出を抑え、商店街の活性化を図るもの。</p>
事業の効果等	消費者の町内での購買意欲と町外流出防止、加えて町の経済の発展に寄与する。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		利用店舗数				単位:店舗
基準値/目標値		基準値【R1】(A)	65店舗	／	目標値【R8】(B)	100店舗
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	5店舗	2店舗	5店舗		
	達成率 (C/B-A)	14.3%	5.7%	14.3%		
累計	実績値(D)	100店舗	102店舗	107店舗		
	達成率 (D-A/B-A)	100.0%	105.7%	120.0%		
実績に対する 所見等		<p>令和6年度の新規利用店舗は5店舗あり、目標を超えて着実に増加している。単年及び累計の達成度を踏まえ、事業評価を「C」としている。</p> <p>引き続き、利用店舗数の増加に向けて周知等に努めていきたい。</p>				
事業の課題・ 改善内容等		新規取扱店舗数拡大、キャッシュレス商品券の導入など検討する必要がある。				
事業評価 ※1		C: 予定通り達成できた		取組方針 ※2	C: 継続	

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	1. 大和町の立地条件・資源を活かし、安心して働ける地域をつくる
プロジェクト名	(2) 新たな活力創出プロジェクト
事業名	④地域産業支援事業
所管課	商工観光課
事業概要	<p>地域資源を活かし魅力ある商店街の形成の為、空き店舗への助成の他、商品開発など様々なニーズに対応できる多様な支援制度を創設することにより、既存商店の販路拡大や集客効果を高めるためのイメージアップを見込んだ店舗改装等の支援を図るもの。</p> <p>また、起業家に対しては創業時に負担となる、店舗の改修費及び家賃の補助を行い、支援を図るもの。</p>
事業の効果等	<p>商店街のニーズに沿った支援を行うことにより、集客力と町内の回遊性を高め商店街の活性化を図り、大和町の魅力を発信しまち全体の活性化につなげる。</p>

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		起業・活動促進補助事業の利用件数				単位:件	
基準値／目標値		基準値【R1】(A) (H27~R1の累計)		10件	／	目標値【R8】(B) (H27~R8の累計)	21件
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8	
単年	実績値(C)	5件	2件	5件			
	達成率 (C/B-A)	45.5%	18.2%	45.5%			
累計	実績値(D)	16件	18件	23件			
	達成率 (D-A/B-A)	54.5%	72.7%	118.2%			
実績に対する所見等		飲食店の他に中古自動車販売業での補助金活用と利用者数も増えており、今後PRに努める。					
事業の課題・改善内容等		商品開発事業は令和6年度までで1件のみの実績のため、令和7年度以降廃止する。空き店舗等改修も一定の効果があったことから令和7年度で新規改修を終了し、令和8年度以降は継続分の家賃補助のみとする。					
事業評価 ※1		A: 予定を大きく上回り達成できた		取組方針 ※2	D: 縮小継続		

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	1. 大和町の立地条件・資源を活かし、安心して働ける地域をつくる
プロジェクト名	(2) 新たな活力創出プロジェクト
事業名	⑤企業立地奨励事業
所管課	商工観光課
事業概要	町内の指定区域に立地し、要件を満たす企業に対する企業立地奨励金等を交付するもの。
事業の効果等	企業誘致優遇制度により企業誘致が促進され、雇用機会の創出や地域経済の活性化が図られ、中長期的には町税の増収も見込まれる。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		利用事業所数				単位:事業所
基準値/目標値		基準値【R1】(A) (H27~R1の累計) 38事業所		目標値【R8】(B) (H27~R8の累計) 40事業所		
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	0事業所	0事業所	0事業所		
	達成率 (C/B-A)	0.0%	0.0%	0.0%		
累計	実績値(D)	41事業所	41事業所	41事業所		
	達成率 (D-A/B-A)	150.0%	150.0%	150.0%		
実績に対する所見等		第一仙台北部中核工業団地の分譲が完売し、更なる産業用地の確保が必要である。単年及び累計の達成度を踏まえ、事業評価を「C」としている。				
事業の課題・改善内容等		特になし。				
事業評価 ※1		C: 予定通り達成できた		取組方針 ※2		D: 縮小継続

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	1. 大和町の立地条件・資源を活かし、安心して働ける地域をつくる
プロジェクト名	(2) 新たな活力創出プロジェクト
事業名	⑥企業誘致事業
所管課	商工観光課・都市建設課
事業概要	<p>圏域内への半導体製造工場進出計画に伴い、関連企業の進出を見据えた新たな産業地整備の検討のほか、自動車関連・半導体関連事業者等の立地企業及びサプライヤーに対し町独自の企業訪問を行い積極的な企業誘致活動を展開するもの。</p> <p>また、セミナー等へも独自で出店し誘致活動を推進していくもの。</p>
事業の効果等	<p>企業の立地に伴い雇用機会の創出や従業員の町内定住により地域経済の活性化が図られ、中長期的には町税の増収も見込まれる。</p>

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		企業立地数(残区画数)				単位:区画
基準値/目標値		基準値【R1】(A)	4区画	/	目標値【R8】(B)	2区画
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	2区画	0区画	0区画		
	達成率 (A-C/A-B)	100.0%	100.0%	100.0%		
累計	実績値(D)	-	-	-	-	-
	達成率	-	-	-	-	-
実績に対する所見等		<p>町内進出企業の更なる増産計画があることから、サプライヤーを中心に企業誘致の訪問活動を行った。</p> <p>単年及び累計の達成度を踏まえ、事業評価を「C」としている。</p>				
事業の課題・改善内容等		特になし。				
事業評価 ※1		C: 予定通り達成できた		取組方針 ※2	C: 継続	

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかつた, E: ほとんど達成できなかつた

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	1. 大和町の立地条件・資源を活かし、安心して働ける地域をつくる
プロジェクト名	(2) 新たな活力創出プロジェクト
事業名	⑦雇用機会掘り起し事業
所管課	商工観光課
事業概要	<p>多くの企業が立地し操業を開始している。着実に雇用の場の確保は整ったが、近年特に企業が人材の確保に苦慮している。町内企業への将来的な雇用サポートが必要な時期に来ており、町内の学校各世代で企業との関係性を築く取り組みを実施するもの。</p> <p>立地決定段階において奨励金フローチャートを作成し、早期創業について要請。また、黒川高等学校において地元企業説明会を実施するもの。</p> <p>町内企業による工場見学及びものづくり体験(オープンファクトリー)を実施するもの。</p>
事業の効果等	町内企業への雇用が増加し人口の流出を防ぐとともに町内企業の生産性が向上し税収の増加にもつながる。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		地元雇用者数(黒川高等学校)(人/年)				単位:人
基準値/目標値		基準値【R1】(A) (H27 R1の累計) 18人		目標値【R8】(B) (H27 R8の累計) 100人		
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	35人	30人	32人		
	達成率 (C/B-A)	42.7%	36.6%	39.0%		
累計	実績値(D)	77人	107人	139人		
	達成率 (D-A/B-A)	72.0%	108.5%	147.6%		
実績に対する所見等		小中学生から町内企業がどのような製品を作っているのか見て体験し、地元企業への雇用に繋がる事業を行った。				
事業の課題・改善内容等		特になし。				
事業評価 ※1	B: 予定以上に達成できた	取組方針 ※2	B: 拡充継続			

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	1. 大和町の立地条件・資源を活かし, 安心して働ける地域をつくる
プロジェクト名	(2) 新たな活力創出プロジェクト
事業名	⑧ 中心市街地整備事業(吉岡西部土地区画整理事業)
所管課	都市建設課
事業概要	吉岡西部地区を土地区画整理事業により, 工業・流通系の業務地として整備を図るとともに, 宮城県にて整備が予定されている北四番丁大衡線と併せて都市計画道路吉田落合線の4車線化整備を図るもの。
事業の効果等	幹線道路の整備と一体となった工業・流通業務地の整備に向けた事業実施のための法手続きが進められた。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		進捗率				単位:%
基準値/目標値		基準値【R1】(A)	0%	/	目標値【R8】(B)	70%
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	0	12.0%	28.0%		
	達成率(C/B-A)	0.0%	17.1%	40.0%		
累計	実績値(D)	0	12.0%	40.0%		
	達成率(D-A/B-A)	0.0%	17.1%	57.1%		
実績に対する所見等		評価基準からすると事業評価は「A」となるが、工程どおりの進捗であるため事業評価を「C」としている。				
事業の課題・改善内容等		地区内居住者の家屋移転等, 事業の進捗に影響のないよう調整が必要となる。				
事業評価 ※1		C: 予定通り達成できた		取組方針 ※2	C: 継続	

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

重点プロジェクト評価シート〔総括表〕

基本目標	2. 大和町への新しいひとの流れをつくる				
内容	多様な世代の生活スタイルに対応するとともに、学力の向上や交流の拡大、豊かな心を育む環境等の充実を図り、移住・定住の促進と次世代を担う子どもの「ひとづくり」に取り組む。				
数値指標	社会増加数(住民基本台帳に基づく人口移動調査年報)			単位:人	
現状値/目標値	基準値【R1】	72人	/	目標値【R8】	50人
実績値	R4:175人	R5:-113人	R6:43人	R7: 人	R8: 人

プロジェクト名	(1) 交流促進プロジェクト				
内容	教育・学習関連施設の機能充実などにより、人々が学び、多様な交流が生まれるとともに、町民がいつまでも学べるまちをつくる。				
総括	C: 予定通り達成できた				
プロジェクトを構成する事業	⑨吉岡小学校改築事業(p13)	達成率	93.0%	事業評価	C
	⑩学校ICT環境整備事業(p14)	達成率	67.0%	事業評価	C
	⑪子育て支援住宅整備事業(p15)	達成率	130.3%	事業評価	C
	⑫子育て世帯等移住・定住応援事業(p16)	達成率	81.1%	事業評価	C
	⑬高等学校等通学応援事業(p17)	達成率	77.2%	事業評価	C
	⑭奨学金返還支援事業(p18)	達成率		事業評価	
		達成率		事業評価	

プロジェクト名	(2) 子どもまちづくりプロジェクト				
内容	地域社会や各教育機関における多様な連携を構築し、多才な「人財」が育つまちづくりに取り組む。				
総括	C: 予定通り達成できた				
プロジェクトを構成する事業	⑮ひとづくりプロジェクト(p19)	達成率	51.5%	事業評価	C
	⑯各種検定料助成事業(p20)	達成率	4.3%	事業評価	C
		達成率		事業評価	
		達成率		事業評価	
		達成率		事業評価	

※ 総括及び事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	2. 大和町への新しいひとの流れをつくる
プロジェクト名	(1) 交流促進プロジェクト
事業名	⑨ 吉岡小学校改築事業
所管課	教育総務課
事業概要	昭和48年3月築の吉岡小学校では老朽化が進んでいることから全面改築し、新しい校舎を建設するもの。
事業の内容と実績	工事期間中における児童生徒の安全対策を第一に、確実な工期内完成が図られるよう進捗管理等を図って行く。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		進捗率				単位:%
基準値/目標値		基準値【R1】(A)	0%	/	目標値【R8】(B)	100%
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	11.0%	6.7%	75.3%		
	達成率(C/B-A)	11.0%	6.7%	75.3%		
累計	実績値(D)	11.0%	17.7%	93.0%		
	達成率(D-A/B-A)	11.0%	17.7%	93.0%		
実績に対する所見等		工程どおりのため、事業評価を「C」としている。				
事業の課題・改善内容等		特になし。				
事業評価 ※1		C: 予定通り達成できた		取組方針 ※2	D: 縮小継続	

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	2. 大和町への新しいひとの流れをつくる
プロジェクト名	(1) 交流促進プロジェクト
事業名	⑩学校ICT環境整備事業
所管課	教育総務課
事業概要	デジタル教科書や問題データベース(問題集)を効果的に活用し、分かる授業の実践に取り組み、児童生徒の学習意欲と成績の向上を図るもの。 更に児童生徒の情報活用能力向上の為、1人1台の端末及び高速大容量の校内情報通信ネットワーク環境を構築し「GIGAスクール構想」の実現を図るもの。
事業の内容と実績	統合型校務支援システムを導入し、教育現場で課題となっている教員の働き方改革とICTを活用した個別最適な学びを実現させ、教員が児童生徒と向き合う時間や授業改善に努める時間を増やし、子どもたち一人ひとりに合った指導が行えるよう環境整備を図った。 また、昨年度同様に端末の有効活用を目的として、研修会を計画的に実施し、教職員のスキルアップを図り、教育の質の向上を図ることができた。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		デジタル教科書及び問題データベースの利用回数				単位:千回
基準値/目標値		基準値【R1】(A) (H27~R1の累計) 209千回		目標値【R8】(B) (H27~R8の累計) 600千回		
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	53千回	48千回	45千回		
	達成率 (C/B-A)	13.6%	12.3%	11.5%		
累計	実績値(D)	378千回	426千回	471千回		
	達成率 (D-A/B-A)	43.2%	55.5%	67.0%		
実績に対する 所見等		単年及び累計の達成度を踏まえ、事業評価を「C」としている。				
事業の課題・ 改善内容等		一人一台タブレット端末については、経年に伴い新しいアプリやOSの進化に追いつかず、活動遅延が生じている点とメーカーサポートが2030年までとなり、更新が必要となる。なお、他市で発火事故が発生しており、安全面からも端末更新は必須となる。また、タブレット端末は文房具と同様、学習には欠かせない道具であり、活用を促進する周辺環境の整備も併せて行う必要がある。				
事業評価 ※1		C: 予定通り達成できた		取組方針 ※2		C: 継続

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかつた, E: ほとんど達成できなかつた

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	2. 大和町への新しいひとの流れをつくる
プロジェクト名	(1) 交流促進プロジェクト
事業名	①子育て支援住宅整備事業
所管課	都市建設課
事業概要	市街地周辺地区への定住誘導を図るための子育て支援住宅を整備するもの。(宮床・吉田・鶴巣・落合地区)
事業の内容と実績	令和6年度は宮床及び吉田地区の建物建築工事を行った。 建築した住宅44戸のうち43戸に入居しており、4地区(宮床、吉田、鶴巣、落合)の児童数の減少の抑制及び人口の維持が図られている。(入居者43世帯163人/内小学生25人、未就学児49人)

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		入居率				単位:%
基準値/目標値		基準値【R1】(A)	70%	/	目標値【R8】(B)	75%
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	100.0%	94.8%	97.7%		
	達成率(C/B)	133.3%	126.4%	130.3%		
累計	実績値(D)	-	-	-	-	-
	達成率	-	-	-	-	-
実績に対する所見等		評価基準からすると事業評価は「A」となるが、事業の実施内容及び評価指標の性質を踏まえ「C」としている。				
事業の課題・改善内容等		入居条件の一つである自治会組織等の地域活動への積極的な参加について、地区によっては参加率が低いとの意見もあり状況を確認する必要がある。				
事業評価 ※1		C: 予定通り達成できた		取組方針 ※2	D: 縮小継続	

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	2. 大和町への新しいひとの流れをつくる
プロジェクト名	(1) 交流促進プロジェクト
事業名	⑫子育て世帯等移住・定住応援事業
所管課	まちづくり政策課
事業概要	人口が減少している周辺地区(宮床・吉田・鶴巣・落合)へ転入・転居する子育て世帯等を対象に、住宅取得やリフォーム費用の一部を「子育て世帯等移住・定住応援事業補助金」として助成し、若い世代の定住を促し、地域活力を維持することを目的に実施するもの。
事業の内容と実績	大和町周辺地域への若い世帯の定住を推進することにより、人口増加や学校教育(小学校機能)の維持、更には、地域コミュニティの活性化が期待できる。 令和6年度においては、4件の事業利用により、人口減少地域に11名の人口増があった。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		事業利用件数				単位:件
基準値/目標値		基準値【R1】(A) (H27~R1の累計) 20件		目標値【R8】(B) (H27~R8の累計) 57件		
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	9件	10件	4件		
	達成率 (C/B-A)	24.3%	27.0%	10.8%		
累計	実績値(D)	36件	46件	50件		
	達成率 (D-A/B-A)	43.2%	70.3%	81.1%		
実績に対する 所見等		単年及び累計の達成度を踏まえ、事業評価を「C」としている。				
事業の課題・ 改善内容等		平成28年度から施行し、市街化区域外への子育て世帯等の移住定住に一定の効果が出ている。その一方で、転入・転居者の事業内容や生活様態が多様化していることから、移住定住事業全体の見直しを行い、本事業については一部軽微な改正として継続することとしている。 併用可能としていた三世代同居応援事業は廃止し、住民にとってもより分かりやすい補助体系へと見直し、令和7年4月から運用を開始した。				
事業評価 ※1		C: 予定通り達成できた		取組方針 ※2		C: 継続

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	2. 大和町への新しいひとの流れをつくる
プロジェクト名	(1) 交流促進プロジェクト
事業名	⑬ 高等学校等通学応援事業
所管課	まちづくり政策課
事業概要	公共交通機関等を利用した高校生等の通学に係る応援と子育て支援の充実を図るため、日常的に路線バスや地下鉄などの公共交通機関(スクールバス含む)の定期券を購入して、通学している高校生に対して、定期券購入費用の一部を助成するもの。
事業の内容と実績	通学に要する費用の負担軽減を図ることにより、子育て世代の負担を軽減し、定住化の促進につながると考えられる。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		事業利用者数				単位:件
基準値/目標値		基準値【R1】(A) (H27~R1の累計) 345人		目標値【R8】(B) (H27~R8の累計) 995人		
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	103人	116人	118人		
	達成率 (C/B-A)	15.8%	17.8%	18.2%		
累計	実績値(D)	613人	729人	847人		
	達成率 (D-A/B-A)	41.2%	59.1%	77.2%		
実績に対する所見等		対象前の中学3年生(保護者)へ向けたチラシの配布や広報たいわへの記事掲載など、申請者が増えるようにPR活動により努めていく必要がある。				
事業の課題・改善内容等		特になし。				
事業評価 ※1		C: 予定通り達成できた		取組方針 ※2		C: 継続

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	2. 大和町への新しいひとの流れをつくる
プロジェクト名	(1) 交流促進プロジェクト
事業名	⑭奨学金返還支援事業
所管課	まちづくり政策課
事業概要	子ども達の教育機会の充実並びに町内等企業の人材確保及び大和町から転出した若者が帰ってきたくなる, また移住したくなる, まちづくりのため, 本町に定住し奨学金の返還を行う若者に対し, 支援を行うもの。
事業の内容と実績	若者及び子育て世帯の定住により, 少子化への対策及び地域の活性化に寄与する。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		申請人数(実人数)				単位:人	
基準値/目標値		基準値【R1】(A) (H27~R1の累計)		0人	目標値【R8】(B) (H27~R8の累計)		180人
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8	
単年	実績値(C)	-	-	-			
	達成率 (C/B-A)	-	-	-			
累計	実績値(D)	-	-	-			
	達成率 (D-A/B-A)	-	-	-			
実績に対する所見等							
事業の課題・改善内容等							
事業評価 ※1			取組方針 ※2				

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかつた, E: ほとんど達成できなかつた

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	2. 大和町への新しいひとの流れをつくる
プロジェクト名	(2) 子どもまちづくりプロジェクト
事業名	⑮ひとづくりプロジェクト
所管課	教育総務課
事業概要	子どもたちの学力向上と豊かな心の育成を図るため、多様な学習の場の提供、学校教育支援を実施するもの。
事業の内容と実績	<p>志まなび塾として全8回の研修を開催し、町内中学1年生13名が参加した。町内研修では吉岡宿の人々の志や町内進出企業の見学、県外研修は、静岡県・愛知県方面の視察研修で町内に工場を有するトヨタ自動車創業者の志を学び、受講生徒それぞれが、今後の自分の人生での志を育むことができた。</p> <p>夢と希望と志を語る会については、各小中学校代表生徒による夢と希望と志をテーマとした意見発表を行った。また、講師として平昌、北京オリンピック出場の元スピードスケート選手の高木那菜氏を招き、講演会も行った。お互いの意見、そしてプロの経験を聞くことで、自らの夢や志、ふるさと大和町の未来の姿への思いを深めることができた。</p> <p>林間教育については、希望した小学校5校で計21回開催し、四季の自然の中で仲間との交流を行うことで自然観察や造形活動などに積極的に取り組み、児童の豊かな人間性を培うことができた。</p> <p>こころのプロジェクト「ユメセン」事業については、全小学校の5年生を対象に、対面による授業を行った。実施後の担任の先生のアンケートでは、「夢を持つことのすばらしさ」は児童に伝わった。「児童が「夢」について具体的に考える機会になった」とほぼ全ての先生が評価している。</p>

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		事業参加児童・生徒数				単位:人
基準値/目標値		基準値【R1】(A) (H27~R1の累計) 5,667人		目標値【R8】(B) (H27~R8の累計) 25,300人		
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	2,347人	3,896人	2,008人		
	達成率 (C/B-A)	12.0%	19.8%	10.2%		
累計	実績値(D)	9,878人	13,774人	15,782人		
	達成率 (D-A/B-A)	21.4%	41.3%	51.5%		
実績に対する所見等		児童生徒数の減少により参加人数は減少している。基準値からすると事業評価は「D」となるが、事業実施後のアンケート調査等では満足度も高いため「C」としている。				
事業の課題・改善内容等		<p>志まなび塾は、令和6年度で8年目を迎えたこともあり、事業内容の見直しや存続も含めた中で検討を行う。</p> <p>夢と希望と志を語る会については、志教育の一環として事業の継続実施を行う。</p> <p>林間教室については、全小学校での実施を行い、児童が自然と触れ合える機会をつくり、林間教室は各校で引き続き実施する。また、小規模校(6年生)の交流教室は担当校の負担軽減のため、希望校のみで実施する。</p> <p>こころのプロジェクト「ユメセン」事業については、今年度も町内小学校で5年生を対象とし、対面での授業を行う。</p>				
事業評価 ※1		C: 予定通り達成できた		取組方針 ※2		C: 継続

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	2. 大和町への新しいひとの流れをつくる
プロジェクト名	(2) 子どもまちづくりプロジェクト
事業名	⑩各種検定料助成事業
所管課	教育総務課
事業概要	町内の児童生徒が、自ら目標を立て学びを進める意欲や、失敗しても再挑戦する姿勢を培うため、積極的に各種検定(英検, 数検, 漢検等)を受検できるよう検定料を助成するもの。
事業の内容と実績	児童生徒の学びの目標ができ、合格すれば将来の就職活動が有利につながる。令和6年度の実績としては、計34名(英語検定26名、漢字検定4名、数学検定4名)に助成した。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標	受検件数				単位:件
基準値/目標値	基準値【R5】(A)	0件	/	目標値【R8】(B) (R6~8の累計)	800件
実施状況	R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	-	-	34件	
	達成率 (C/B-A)	-	-	4.3%	
累計	実績値(D)	-	-	34件	
	達成率 (D-A/B-A)	-	-	4.3%	
実績に対する所見等	評価基準からすると事業評価は「E」となるが、令和7年度より補助事業の対象学年を拡充し、利用者の増を図ることとしているため「C」としている。				
事業の課題・改善内容等	<p>学校を準会場としての体制について、令和8年度以降での実施の可能性について研究するが、児童・生徒の英検, 数検, 漢検をすべてを行うのは、教員負担増が懸念されることから、準会場として行う場合は教育委員会の職員等が対応する必要がある。さらには、英検3級以上は2次試験が仙台市内の私立高校等で開催されており、交通費補助等の検討も必要である。</p> <p>特に英語教育には、これからの時代を生きる子どもたちには必要であり、検定試験のための補習等が必要と考える。</p>				
事業評価 ※1	C: 予定通り達成できた		取組方針 ※2	C: 継続	

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

重点プロジェクト評価シート〔総括表〕

基本目標	3. 大和町における結婚・出産・子育ての希望をかなえる				
内容	結婚・出産・育児の悩みや不安を解消するための集いの場づくりや子育てに要する経済的な負担の軽減を図り、安心して結婚・出産・子育てできるまちをつくる。				
数値指標	出生数(住民基本台帳に基づく人口移動調査年報)				単位:人
現状値/目標値	基準値【R1】	235人	/	目標値【R8】	300人
実績値	R4:196人	R5:192人	R6:167人	R7: 人	R8: 人

プロジェクト名	(1) 安心生活サポートプロジェクト				
内容	妊娠期から出産, 子育て期などの母子サポートや健康増進サポート, 福祉サポートなどを充実させ, 町民のみなさんが健康で安心して暮らせるまちをつくる。				
総括	C: 予定通り達成できた				
プロジェクトを構成する事業	⑰縁結び応援事業(p22)	達成率	85.7%	事業評価	C
	⑱地域福祉活動活性化事業(p23)	達成率	87.0%	事業評価	C
	⑲あんしん子育て医療費助成事業(p24)	達成率	74.4%	事業評価	C
	⑳第3子以降の育児支援事業(p25)	達成率	61.5%	事業評価	C
	㉑出産祝い品贈呈事業(p26)	達成率	-11.0%	事業評価	C
	㉒病後児保育事業(p27)	達成率	—	事業評価	C
	㉓高齢者福祉事業(p28)	達成率	—	事業評価	C
	㉔障害者自立支援給付・地域生活支援事業(p29)	達成率	—	事業評価	C
	㉕健康増進事業(p30)	達成率	21.1%	事業評価	C

プロジェクト名	(2) 子どもの居場所づくりプロジェクト				
内容	子どもが安心して健やかに過ごすことができる居場所をつくる。				
総括	C: 予定通り達成できた				
プロジェクトを構成する事業	㉖児童支援センター運営事業(p31)	達成率	86.2%	事業評価	C
	㉗みんなで遊び場どうじょ(p32)	達成率	189.6%	事業評価	C
		達成率		事業評価	

※ 総括及び事業評価凡例

A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,

D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	3. 大和町における結婚・出産・子育ての希望をかなえる
プロジェクト名	(1) 安心生活サポートプロジェクト
事業名	⑰縁結び応援事業
所管課	総務課
事業概要	町内在住・在勤者を対象に出会いの場を提供し、若い世代の人口増加に寄与するものであり、町の観光資源を活用した婚活イベント及び参加者の魅力向上のためのセミナーを開催するもの。 縁結び応援団を組織し、研修会等を開催し、仲人活動を推進する。また、応援者の仲介により成婚に至った場合には、応援者に対して成婚奨励金10万円を支給する。 黒川地区後継者対策推進協議会で結婚相談所を設置し、個別相談に応じることで結婚支援体制の強化を図る。
事業の内容と実績	婚活イベントを通して、異性間の出会いの機会を創出する。 町内の縁結びにちなんだ祭りや歴史等を活用することで「縁結びのまち」としてのアピールに寄与している。 縁結び応援者を養成することで、地域の中で適切なフォローや後押しをすることができ、成婚者増加が期待できる。 黒川地区後継者対策推進協議会で広域的に結婚相談事業に取り組むことで、相談件数の増加や、マッチングの機会の増加が見込まれる。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		事業実施による婚姻人数				単位:人
基準値/目標値		基準値【R1】(A) (H27 R1の累計) 14人		目標値【R8】(B) (H27 R8の累計) 28人		
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	4人	4人	0人		
	達成率 (C/B-A)	28.6%	28.6%	0.0%		
累計	実績値(D)	22人	26人	26人		
	達成率 (D-A/B-A)	57.1%	85.7%	85.7%		
実績に対する所見等		本事業は出会いの機会を創出するものであるため、その後の成婚までのフォローは難しいのが現状である。 単年及び累計の達成度を踏まえ、事業評価を「C」としている。				
事業の課題・改善内容等		マッチングアプリなど、SNSなどによる婚活が広く行われている中、差別化を図るためにも、町の資源を活用することで、大和町で開催することに意義があるような婚活イベントを実施していく。				
事業評価 ※1		C: 予定通り達成できた		取組方針 ※2		C: 継続

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかつた, E: ほとんど達成できなかつた

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	3. 大和町における結婚・出産・子育ての希望をかなえる
プロジェクト名	(1) 安心生活サポートプロジェクト
事業名	⑱地域福祉活動活性化事業
所管課	福祉課
事業概要	地域の支え合いや協働など地域の福祉活動の活性化を目指した活動支援、ボランティア育成、生き生きサロンの活動を元とした見守り訪問活動の充実を図るもの。
事業の内容と実績	<p>社協だよりやウェブサイトを活用し、社協の活動内容を紹介したり、小学生を対象にした福祉教育を実施した。</p> <p>生活支援コーディネーターを配置することで、地域資源の発掘や地域課題の解決に向けた体制整備が図られる。</p> <p>配食サービスや日常生活自立支援事業の実施、生活資金の貸付を行うことで、住み慣れた地域で自立した生活を送る手助けができる。</p> <p>ボランティアに対する関心を高め、いつでも、どこでも、誰でも参加できる体制整備に努めることで、地域コミュニティの形成が図られる。</p> <p>町内外の研修に参加することで、民生委員・児童委員としての資質向上が期待できる。</p> <p>高齢者が住み慣れた地域で人々とふれあう機会を提供することで、高齢者の仲間づくり、生きがいがづくりの一助となる。</p>

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		ボランティア登録数				単位:人
基準値/目標値		基準値【R1】(A) (H27~R1の累計) 4,304人		目標値【R8】(B) (H27~R8の累計) 10,323人		
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	1,099人	1,210人	1,196人		
	達成率 (C/B-A)	18.3%	20.1%	19.9%		
累計	実績値(D)	7,136人	8,346人	9,542人		
	達成率 (D-A/B-A)	47.1%	67.2%	87.0%		
実績に対する所見等		令和5年度並みの人員で推移することができ、ボランティアに対する意識付けができています。				
事業の課題・改善内容等		特になし。				
事業評価 ※1		C: 予定通り達成できた		取組方針 ※2		C: 継続

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	3. 大和町における結婚・出産・子育ての希望をかなえる
プロジェクト名	(1)安心生活サポートプロジェクト
事業名	⑩あんしん子育て医療費助成事業
所管課	子ども家庭課
事業概要	<p>家庭を応援し、大和町の未来を担う子どものすこやかな育成を図るため、医療費の自己負担額を助成するもの。</p> <p>大和町に住所を有する児童等で出生から18歳(18歳に達する日の属する年度の末日)までの入院・通院の保険診療にかかる自己負担額(他医療費助成・高額療養費・食事代などは除く)が助成の対象となる。(所得制限無し)</p>
事業の内容と実績	18歳までの子を持つ家庭の経済的負担の軽減、早期受診の促進、健康格差の是正が図られる。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標	助成事業対象者数(15歳から18歳までの高校生相当年齢のみ)				単位:人
基準値/目標値	基準値【R1】(A) (H27~R1の累計) 3,760人		目標値【R8】(B) (H27~R8の累計) 9,000人		
実施状況	R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	782人	806人	838人	
	達成率 (C/B-A)	14.9%	15.4%	16.0%	
累計	実績値(D)	6,017人	6,823人	7,661人	
	達成率 (D-A/B-A)	43.1%	58.5%	74.4%	
実績に対する所見等	令和6年3月末現在との比較では、助成事業対象者数が微増であるが、今後子どもの人数は減少すると見込まれる。				
事業の課題・改善内容等	県内34市町村が、本町と同様の18歳までの医療費無償化を行っている(仙台市だけが15歳、市長の選挙公約では18歳前とのこと)。他市町村との優位性は無いに等しい。				
事業評価 ※1	C:予定通り達成できた		取組方針 ※2	C:継続	

※1 事業評価凡例

A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,

D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	3. 大和町における結婚・出産・子育ての希望をかなえる
プロジェクト名	(1) 安心生活サポートプロジェクト
事業名	㊹第3子以降の育児支援事業
所管課	子ども家庭課
事業概要	3人目以降の子どもが生まれた時や、小学校、中学校に入学した時に保護者に対して祝金を給付するもので、誕生及び入学を祝福するとともに、保護者の経済的負担軽減や定住促進を目的として実施するもの。
事業の内容と実績	第3子の出生や小・中学校入学を祝福し、併せて多子世帯の保護者の経済的負担の軽減や町内への定住促進、町内での消費喚起に寄与する。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		第3子以降出生数				単位:人
基準値／目標値		基準値【R1】(A) (H27~R1の累計) 262人		／		目標値【R8】(B) (H27~R8の累計) 540人
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	25人	29人	33人		
	達成率 (C/B-A)	9.0%	10.4%	11.9%		
累計	実績値(D)	371人	400人	433人		
	達成率 (D-A/B-A)	39.2%	49.6%	61.5%		
実績に対する所見等		令和6年3月末現在との比較では、助成事業対象者数が増加したが、今後子どもの人数は減少すると見込まれる。 累計の達成度を踏まえ、事業評価を「C」としている。				
事業の課題・改善内容等		特になし。				
事業評価 ※1		C: 予定通り達成できた		取組方針 ※2		C: 継続

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	3. 大和町における結婚・出産・子育ての希望をかなえる
プロジェクト名	(1) 安心生活サポートプロジェクト
事業名	② 出産祝い品贈呈事業
所管課	健康推進課
事業概要	次世代を担う子どもの出産を奨励し、新たに出生した子どもを祝福するための祝い品を贈呈するもの。
事業の内容と実績	<p>子どものこころの健康づくり、子どもの健やかな育ちから保護者の育児不安の軽減を図ることを目的としており、絵本をツール(媒体)として親子のコミュニケーションを豊かにすることに寄与している。</p> <p>R4年度にアンケートを実施した結果、祝い品として希望するものに、仕掛け絵本や音の鳴る絵本などの声を得られ、令和5年度の絵本の選定において参考とした。令和6年度においても出生した子どもを祝福し、親子での日々のコミュニケーションツールとして対象者に絵本を活用していただきながら、健全な子どもの発育を促していきたい。</p> <p>R6年度実績 贈呈件数:167件(R5:185件)</p>

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標	対1,000人当たりの出生率				単位:%
基準値/目標値	基準値【R1】(A) 7.98%		/	目標値【R8】(B) 7.98%	
実施状況	R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	6.9%	7.0%	7.1%	
	達成率(C/B-1)	-13.5%	-12.3%	-11.0%	
累計	実績値(D)	-	-	-	-
	達成率	-	-	-	-
実績に対する所見等	評価基準からすると事業評価は「E」となるが、出生率が県内2位と高位にあること、アンケート結果から91%の保護者が絵本を「気に入った」「まあまあ気に入った」と回答し、満足度の高い事業となっていることを踏まえ、「C」としている。				
事業の課題・改善内容等	令和5年度に実施したアンケートでは、「赤ちゃんに破かれないように、丈夫な絵本が欲しい」という意見があり、令和6年度の絵本選定の際に意見を反映した。 今後もアンケート等で意見や感想を募り、子どもと保護者に活用していただけるような出産祝い品を贈呈できるよう、今後も努めていく。				
事業評価 ※1	C: 予定通り達成できた		取組方針 ※2	C: 継続	

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	3. 大和町における結婚・出産・子育ての希望をかなえる
プロジェクト名	(1) 安心生活サポートプロジェクト
事業名	㊸病後児保育事業
所管課	子ども家庭課
事業概要	保育を必要とする乳幼児や小学生が病気の回復期で集団保育・登校が困難で、かつ家庭で見守り等が実施できない児童に対し一時的に保育を行い、保護者の就労の機会の確保を図るもの。
事業の内容と実績	<p>保育を必要とする乳幼児や小学生が病気の回復期で集団保育・登校が困難で、かつ家庭で見守り等が実施できない児童に対し一時的に保育を行い、保護者の就労機会の確保を図るもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録者数(令和7年3月末時点) 147人 ・年間利用者数 延60人

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標	-					単位:	
基準値／目標値	基準値【R1】(A)		-	／		目標値【R8】(B)	-
実施状況	R4	R5	R6	R7	R8		
単年	実績値(C)	-	-	-	-	-	
	達成率	-	-	-	-	-	
累計	実績値(D)	-	-	-	-	-	
	達成率	-	-	-	-	-	
実績に対する所見等	特になし。						
事業の課題・改善内容等	特になし。						
事業評価 ※1	C: 予定通り達成できた		取組方針 ※2	C: 継続			

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	3. 大和町における結婚・出産・子育ての希望をかなえる
プロジェクト名	(1) 安心生活サポートプロジェクト
事業名	㊸高齢者福祉事業
所管課	福祉課
事業概要	高齢者の自立した生活を支援するためのサービス, 事業を実施するもの。
事業の内容と実績	要援護高齢者(認知症や心身機能の低下などのため, 日常生活を営むうえで何らかの介護や支援を必要とする高齢者)や一人暮らしの高齢者等に, 自立した生活を送ることができるようなサービスを提供することで, 住み慣れた地域で暮らし続けることができる。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		-				単位:
基準値/目標値		基準値【R1】(A)	-	/	目標値【R8】(B)	-
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	-	-	-	-	-
	達成率	-	-	-	-	-
累計	実績値(D)	-	-	-	-	-
	達成率	-	-	-	-	-
実績に対する所見等		必要な方々へ各種サービスを提供している。				
事業の課題・改善内容等		特になし。				
事業評価 ※1		C: 予定通り達成できた		取組方針 ※2		C: 継続

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	3. 大和町における結婚・出産・子育ての希望をかなえる
プロジェクト名	(1) 安心生活サポートプロジェクト
事業名	④障害者自立支援給付・地域生活支援事業
所管課	福祉課
事業概要	「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」に基づく医療・給付・サービスを提供するもの。
事業の内容と実績	更生医療として高額な医療費負担をすることなく必要な医療を受けられている。 育成医療として高額な医療費負担をすることなく必要な医療を受けられることにより、障害児福祉の向上と、障害児を療育する若年世帯の負担の軽減された。 補装具費として障害のある方が安全な生活を送ることができている。 障害福祉サービス・障害児通所により、快適な生活が出来るようサービスを利用できている。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標	-					単位:	
基準値／目標値	基準値【R1】(A)		-	／		目標値【R8】(B)	-
実施状況	R4	R5	R6	R7	R8		
単年	実績値(C)	-	-	-	-	-	
	達成率	-	-	-	-	-	
累計	実績値(D)	-	-	-	-	-	
	達成率	-	-	-	-	-	
実績に対する所見等	特になし。						
事業の課題・改善内容等	特になし。						
事業評価 ※1	C: 予定通り達成できた		取組方針 ※2	C: 継続			

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	3. 大和町における結婚・出産・子育ての希望をかなえる
プロジェクト名	(1)安心生活サポートプロジェクト
事業名	㊸健康増進事業
所管課	健康推進課
事業概要	健康たいわ21プランに基づき、町民一人ひとりが「自分の健康の維持・増進を自ら図る」という意識の向上を図るもの。
事業の内容と実績	健康たいわ21プラン(第2次計画)に掲げる重点項目の評価指標と経年の指標数値、事業実績等を比較し、町の健康課題を把握するとともに、事業の工夫、見直しにつなげた。また、地域に出向く様々な健康づくり事業の実施を通して、心身の健康に対する意識の醸成、運動や食事などの生活習慣の見直しを啓発するとともに、実践的な取組みつなげることができた。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標	健康教室の参加人数				単位:人
基準値/目標値	基準値【R1】(A) (H27~R1の累計)	12,222人	/	目標値【R8】(B) (H27~R8の累計)	26,000人
実施状況	R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	678人	893人	710人	
	達成率 (C/B-A)	5.0%	6.5%	5.2%	
累計	実績値(D)	13,527人	14,420人	15,130人	
	達成率 (D-A/B-A)	9.5%	16.0%	21.1%	
実績に対する所見等	<p>ポピュレーションアプローチを充実させることで、全体的な健康の底上げをしていくことが今後の課題である。</p> <p>事業評価は「D」となるが、令和7年度に健康アプリを導入し、個人の健康管理を促すこととしているため「C」としている。</p>				
事業の課題・改善内容等	<p>成人の肥満・メタボリックシンドローム該当者・予備群の状況は改善に向けて、住民が適正体重維持やバランスのとれた食生活を実践できるよう、取組を継続していく。</p>				
事業評価 ※1	C: 予定通り達成できた		取組方針 ※2	C: 継続	

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	3. 大和町における結婚・出産・子育ての希望をかなえる
プロジェクト名	(2) 子どもの居場所づくりプロジェクト
事業名	㊸児童支援センター運営事業
所管課	子ども家庭課
事業概要	<p>次世代を担う子どもたちが健やかに育ち、保護者が安心して子育てできる環境づくりを支援するもの。</p> <p>ひだまりの丘の一室を活用し、事由来館による親子交流、地域の子育て情報の提供、子育てサークルやボランティアの育成・支援を行い、運営にあたっては、児童館・放課後児童クラブ運営業務を受託している民間事業者に委託している。</p>
事業の内容と実績	<p>子育て家庭の育児に対する不安感や悩みの解消を図り、児童の健全育成が促進される。</p>

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		児童支援センター利用者数				単位:人
基準値/目標値		基準値【R1】(A) (H27~R1の累計)	39,003人	/	目標値【R8】(B) (H27~R8の累計)	71,000人
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	3,631人	8,589人	8,427人		
	達成率 (C/B-A)	11.3%	26.8%	26.3%		
累計	実績値(D)	49,555人	58,144人	66,571人		
	達成率 (D-A/B-A)	33.0%	59.8%	86.2%		
実績に対する所見等		<p>評価基準からすると事業評価は「B」となるが、新型コロナウイルス感染症の影響は収まったと考えられ、感染拡大前の利用者数に戻りつつあることから、事業評価を「C」としている。</p>				
事業の課題・改善内容等		特になし。				
事業評価 ※1		C: 予定通り達成できた		取組方針 ※2	C: 継続	

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかつた, E: ほとんど達成できなかつた

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	3. 大和町における結婚・出産・子育ての希望をかなえる
プロジェクト名	(2) 子どもの居場所づくりプロジェクト
事業名	㊸みんなで遊び場どうじょ！
所管課	生涯学習課
事業概要	地域と子どもをつなぐ場として、子どもから大人まで、安心できる居場所、時間を作ることを目的に、自由な交流の場を創設するもの。親子で遊び場での活動を楽しむことで、親子のふれあいの大切さを感じたり、参加者同士の交流を深めたりする。また、地域の大人が子どもたちの健やかな成長を見守り、子どもが生きる力を育む場となることを目指す。
事業の内容と実績	子どもから大人まで、思い思いの遊びを楽しんでおり、参加者同士の交流も生まれている。教育ふれあいセンターや公園などを拠点として、遊び場の創出、自由な交流の促進が図られている。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		遊び場どうじょ参加者数(年2回)				単位:人
基準値／目標値		基準値【R1】(A) (H27 R1の累計) 29人		目標値【R8】(B) (H27 R8の累計) 414人		
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	76人	283人	244人		
	達成率 (C/B-A)	19.7%	73.5%	63.4%		
累計	実績値(D)	232人	515人	759人		
	達成率 (D-A/B-A)	52.7%	126.2%	189.6%		
実績に対する 所見等		令和6年度は2回実施したが、アンケートでも事業については好評を得ており、親子を中心に目標を上回る参加を得ている。 評価基準からすると事業評価は「A」となるが、来年度から民間団体へ移行することもあり、その調整など課題が残っていることから「C」としている。				
事業の課題・ 改善内容等		町が主体となり実施する形態は、令和7年度で終了し、令和8年度以降は、これまで事業実施に協力していた地元の団体に引継ぎ、当該団体の任意形式での内容で行ってもらう。				
事業評価 ※1		C: 予定通り達成できた		取組方針 ※2		E: 完了・廃止

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかつた, E: ほとんど達成できなかつた

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

重点プロジェクト評価シート〔総括表〕

基本目標	4. ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる				
内容	豊かな自然や歴史など、まちの資源を活かしたまちおこしやスポーツのイベントなどを開催して元気なまちを発信し、町内外から人々が集い、多世代でにぎわう地域交流のまちをつくる。 さらに、頻発化・激甚化する自然災害に備え、人々が安全・安心に暮らすことができるまちをつくる。				
数値指標	観光客入込数(宮城県観光統計概要)				単位:人
現状値/目標値	基準値【R1】	264,214人	/	目標値【R8】	320,000人
実績値	R4:275,052人	R5:296,772人	R6:315,152人	R7: 人	R8: 人

プロジェクト名	(1)にぎわい創出プロジェクト				
内容	豊かな自然資源を活かした観光振興や、図書館機能を有する多目的施設等の整備による中心市街地の活性化など、多くの人々の交流によるにぎわいのあるまちをつくる。				
総括	C: 予定通り達成できた				
プロジェクトを構成する事業	㊸にぎわい創出事業(p34)	達成率	-	事業評価	C
	㊹七ツ森湖周辺再整備事業(p35)	達成率	102.7%	事業評価	B
	㊺歴史資源を活用した観光PR活動(p36)	達成率	130.5%	事業評価	C
	㊻県営林道整備事業負担金(p37)	達成率	67.8%	事業評価	C
	㊼スポーツ振興事業(p38)	達成率	124.7%	事業評価	C
	㊽まちづくり人材育成事業(p39)	達成率	112.3%	事業評価	C

プロジェクト名	(2)安全で安心できるまちづくりプロジェクト				
内容	災害リスクへの備えを充実させるとともに、防災・減災への取り組みを引き続き推進し、安全で安心できるまちをつくる。 また、町民の暮らしを支えるインフラ等を適正に管理し、公共施設等の長寿命化等を図る。				
総括	C: 予定通り達成できた				
プロジェクトを構成する事業	㊾公共下水道施設(汚水)のアセット(ストック)マネジメント及び耐震化の推進(p40)	達成率	94.4%	事業評価	C
	㊿水害減災プロジェクト(p41)	達成率	33.7%	事業評価	C
	㊽田んぼダム推進事業(p42)	達成率	83.6%	事業評価	C
	㊾防犯対策推進事業(p43)	達成率	71.4%	事業評価	C
	㊿公共施設の適正管理(公共施設の長寿命化など)(p44)	達成率	-5.3%	事業評価	C

※ 総括及び事業評価凡例

A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,

D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	4. ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる
プロジェクト名	(1)にぎわい創出プロジェクト
事業名	㊸にぎわい創出事業
所管課	まちづくり政策課
事業概要	吉岡既成市街地において、人と人が安心して行き来できる通路や集える場など、市街地のにぎわい・憩い等を創出するための土地利用方針等を検討し、整備するもの。
事業の内容と実績	都市計画道路高田中町線の整備方針を含め、吉岡地区の既成市街地の活性化について検討し、交通利便性の向上及び歩行者等の安全確保、並びに既存市街地のにぎわい創出を図る。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		-				単位:				
基準値／目標値		基準値【R1】(A)		-		／	目標値【R8】(B)		-	
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8				
単年	実績値(C)	-	-	-	-	-				
	達成率	-	-	-	-	-				
累計	実績値(D)	-	-	-	-	-				
	達成率	-	-	-	-	-				
実績に対する所見等										
事業の課題・改善内容等		<p>買収したエンドーチェーン跡地の広場等の整備をはじめ、周辺の土地利用や武道館の利活用について、既成市街地のにぎわい創出の可能性について検討を進めていく必要がある。</p>								
事業評価 ※1		C: 予定通り達成できた			取組方針 ※2		C: 継続			

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	4. ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる
プロジェクト名	(1)にぎわい創出プロジェクト
事業名	㊸七ツ森湖周辺再整備事業
所管課	商工観光課
事業概要	七ツ森湖周辺の観光周遊の拠点を創出するため、四十八滝運動公園内でのオートキャンプ場整備や蛇石せせらぎ公園内での専用駐車場整備及びトイレの新設等を行うもの。
事業の内容と実績	観光資源の豊富な南川ダムの周遊の拠点とし、地域・経済の活性化が見込まれる。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		四十八滝運動公園の観光客入込数				単位:人
基準値／目標値		基準値【R1】(A) (H27~R1の累計)	1,419人	/	目標値【R8】(B) (H27~R8の累計)	4,000人
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	258人	1,120人	830人		
	達成率 (C/B-A)	10.0%	43.4%	32.2%		
累計	実績値(D)	2,120人	3,240人	4,070人		
	達成率 (D-A/B-A)	27.2%	70.6%	102.7%		
実績に対する所見等		四十八滝運動公園内のオートキャンプ場利用者用のトイレの実施設計及び対象年齢6歳までの遊具の設置をし、観光客の入込数の増加に繋がった。				
事業の課題・改善内容等		蛇石せせらぎ公園駐車場整備及び今後七ツ森ふれあいの里(バンガロー)の再整備を検討する必要がある。				
事業評価 ※1		B: 予定以上に達成できた		取組方針 ※2		B: 拡充継続

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	4. ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる
プロジェクト名	(1)にぎわい創出プロジェクト
事業名	⑩歴史資源を活用した観光PR活動
所管課	生涯学習課
事業概要	伊達家ゆかりの歴史的資源を通して町の魅力を発信しイメージの向上を図るもの。
事業の内容と実績	<p>旧宮床伊達家住宅や覚照寺(伊達家御廟)、宮床宝蔵など、宮床地区に所在するもののほか、天皇寺や吉岡八幡神社、九品寺、保福寺など、庁内には伊達家ゆかりの歴史的資源等が多数存在しているが、これら町の歴史的遺産の案内板を整備するとともに、この他にも、町のホームページのトップから文化財を紹介するページに直接アクセスできる様、改善を図った。</p> <p>また、宮床地区の伊達家関連の社会教育施設(旧宮床伊達家住宅、宮床宝蔵)に関しては、指定管理者による企画展等の開催にあたり町職員が助言を行うなど、指定管理者や地域の関係団体と協働で町の魅力発信を図った。</p>

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		来館者数				単位:人
基準値/目標値		基準値【R1】(A)	0人	/	目標値【R8】(B) (H27~R8の累計)	10,000人
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	2,337人	2,838人	3,473人		
	達成率 (C/B-A)	23.4%	28.4%	34.7%		
累計	実績値(D)	6,734人	9,572人	13,045人		
	達成率 (D-A/B-A)	67.3%	95.7%	130.5%		
実績に対する所見等		<p>回復傾向にはあるが、コロナ前に比べ、社会教育関連施設への来館者数が減少している。</p> <p>評価基準からすると事業評価は「B」となるが、コロナ前の来館者数へ回復させるため、施設とも協議の上、来館者の増に努める必要があることから「C」としている。</p>				
事業の課題・改善内容等		案内者の掘り起こしや育成、育成後の活用とPR活動との連携が必要である。				
事業評価 ※1		C: 予定通り達成できた		取組方針 ※2	C: 継続	

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	4. ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる
プロジェクト名	(1)にぎわい創出プロジェクト
事業名	③県営林道整備事業負担金
所管課	農林振興課
事業概要	県営事業林道七ツ森湖泉ケ岳線の新設整備の促進を図るもの。
事業の内容と実績	人工林整備面積が約270ha(大和町側150ha, 仙台市側120ha)が拡大する。 周辺地は国立研究開発法人森林研究・整備機構森林整備センターとの分収林契約220ha(大和町側120ha, 仙台市側100ha)が約20年後に返地され再造林等が行うことが可能となる。 素材運搬距離の短縮による木材運搬コストの低減が図られる。 南川ダム周辺から泉ケ岳への観光道路として交流人口の拡大が図られる。 災害時の代替道路の整備が行われる。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		林道延長				単位: km
基準値／目標値		基準値【R1】(A)	46.1km	／	目標値【R8】(B)	52.0km
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	50.1km	50.1km	50.1km		
	達成率(C/B-A)	67.8%	67.8%	67.8%		
累計	実績値(D)	-	-	-	-	-
	達成率(D-A/B-A)	-	-	-	-	-
実績に対する所見等		令和4年度から事業着手しているが、岩盤や高低差が大きい箇所施工に時間を要している。 単年及び累計の達成度を踏まえ、事業評価を「C」としている。				
事業の課題・改善内容等		市町村道を連絡する林道であることから県営事業での実施となり、令和4年度に接続する林道高倉線を町道認定したもの。 仙台市側の整備延長が計画より短くなっている(計画4km)ことから工期が前倒しされ早期完成も予想されること。また、観光道路の期待も高いことから国庫補助前倒しによる早期完成を県へ要望する。 県営整備林道ではあるが、町が用地・立木無補償の承諾を得る必要がある。				
事業評価 ※1		C: 予定通り達成できた		取組方針 ※2	C: 継続	

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	4. ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる
プロジェクト名	(1)にぎわい創出プロジェクト
事業名	㊸スポーツ振興事業
所管課	生涯学習課
事業概要	子どもから高齢者まで幅広い年代が参加し楽しめる「大和町スポーツフェア」や「町民マラソン大会」を開催する。また、新たに自転車関連の大会誘致やイベントの実施により、生涯スポーツの振興及び地域の活性化と交流人口の拡大を図るとともに、併せて自転車を生かした特色あるスポーツ振興施策を展開していく。
事業の内容と実績	大和町スポーツフェアは、ニュースポーツコーナーや、オリンピックによる教室、トークショーなどの他、同会場で「健康たいわ21推進大会」も併せて開催されるなど、スポーツと健康の双方が連携した内容で実施した。参加者数は、前年度と同程度の人数であったが、アンケートでも楽しかったとの声が多数寄せられた。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		参加者数				単位:人
基準値/目標値		基準値【R1】(A) (H27~R1の累計) 2,968人		目標値【R8】(B) (H27~R8の累計) 5,600人		
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	2,152人	651人	479人		
	達成率 (C/B-A)	81.8%	24.7%	18.2%		
累計	実績値(D)	5,120人	5,771人	6,250人		
	達成率 (D-A/B-A)	81.8%	106.5%	124.7%		
実績に対する所見等		大和町スポーツフェアは、内外から広く来場があり、家族のコミュニケーションと生涯スポーツの推進が図られた。当事業は、今後も継続して実施し、スポーツの普及・推進を図っていきたい。				
事業の課題・改善内容等		「大和町スポーツフェア」については、コロナ時期に比べ来場者数が増加しているものの、コロナ前に比べ減少していることから、事業の周知やPR方法の工夫、内容の見直しなど、来場者の増加を図る必要がある。なお、この業務については、令和7年度から指定管理の中に含み実施している。				
事業評価 ※1		C: 予定通り達成できた		取組方針 ※2		C: 継続

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	4. ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる
プロジェクト名	(1)にぎわい創出プロジェクト
事業名	㊸まちづくり人材育成事業
所管課	まちづくり政策課
事業概要	まちづくりに関する懇談会やワークショップ等を開催し、町民参画等によるまちづくり活動の推進を図るもの。
事業の内容と実績	令和6年度においては、にぎわい創出事業(図書館機能を有する多目的施設の整備)及び敬老会事業の見直しなどを題材に、5月に町民懇談会を開催した。6地区で計125名の町民等が参加し、町民等の意見を徴収することができた。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		参加人数				単位:人
基準値/目標値		基準値【R1】(A) (H27~R1の累計) 46人		/	目標値【R8】(B) (H27~R8の累計) 250人	
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	12人	0人	125人		
	達成率 (C/B-A)	5.9%	0.0%	61.3%		
累計	実績値(D)	150人	150人	275人		
	達成率 (D-A/B-A)	51.0%	51.0%	112.3%		
実績に対する 所見等		町主催の町民懇談会であるため、事業評価を「C」としている。				
事業の課題・ 改善内容等		今後、積極的にワークショップ等設けるなど、まちづくり人材の育成に努める必要がある。				
事業評価 ※1		C: 予定通り達成できた		取組方針 ※2		C: 継続

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	4. ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる
プロジェクト名	(2)安全で安心できるまちづくりプロジェクト
事業名	③④公共下水道施設(汚水)のアセット(ストック)マネジメント及び耐震化の推進
所管課	上下水道課
事業概要	老朽化等により、下水道管の損傷が予想されることから、長寿命化や断水対策、公衆衛生環境の維持を図るため、管渠の布設替えや補強対策、マンホールの浮上防止対策など、耐震化を推進し、管理施設の強化を図るもの。
事業の内容と実績	生活排水及び産業活動による排水等を円滑に下流へ排除し、住民生活環境、産業活動環境及び公衆衛生の向上に資するもの。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		公共下水道施設(汚水)の調査済延長				単位:m
基準値/目標値		基準値【R1】(A)	0m	/	目標値【R8】(B)	17,000m
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	16,052m	0m	0m		
	達成率(C/B-A)	94.4%	0.0%	0.0%		
累計	実績値(D)	16,052m	16,052m	16,052m		
	達成率(D-A/B-A)	94.4%	94.4%	94.4%		
実績に対する所見等		評価基準からすると事業評価は「E」となるが、施工計画等を踏まえ「C」としている。				
事業の課題・改善内容等		特になし。				
事業評価 ※1		C:予定通り達成できた		取組方針 ※2	C:継続	

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	4. ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる
プロジェクト名	(2)安全で安心できるまちづくりプロジェクト
事業名	㊸水害減災プロジェクト
所管課	上下水道課
事業概要	市街地の排水路整備等を行い内水対策の強化を図るもの。
事業の内容と実績	雨水排水等を円滑に下流へ排除し、住民生活環境及び公衆衛生の向上に資するもの。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		公共下水道施設(雨水)の調査済延長				単位:m
基準値/目標値		基準値【R1】(A)	0m	/	目標値【R8】(B)	19,000m
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	6,400m	0m	0m		
	達成率(C/B-A)	33.7%	0.0%	0.0%		
累計	実績値(D)	6,400m	6,400m	6,400m		
	達成率(D-A/B-A)	33.7%	33.7%	33.7%		
実績に対する所見等		評価基準からすると事業評価は「E」となるが、施工計画等を踏まえ「C」としている。				
事業の課題・改善内容等		特になし。				
事業評価 ※1		C:予定通り達成できた		取組方針 ※2	C:継続	

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	4. ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる
プロジェクト名	(2)安全で安心できるまちづくりプロジェクト
事業名	㊸田んぼダム推進事業
所管課	農林振興課
事業概要	災害に強いまちづくりに向け、農業用施設としての排水機の改修・強化することで近年増加傾向にある豪雨時の雨水対策を図るもの。 水田の雨水貯留機能(田んぼダム)の取組推進のための水田排水口への調整装置を設置するなどして、水田地帯からの流出量の平準化を図るもの。
事業の内容と実績	仮に300haを取り組んだ場合の貯水量は60万m ³ となり、嘉太神ダム(70万m ³)と同等の治水効果が理論上は発揮される。 稲作には影響がないという研究結果はあるが、下流域のための田んぼダムであり、協力をいただくには、農家負担が掛からないよう支援が必要である。 今後は富谷北部土地改良区及び共同施行土地改良区域へも働きかけを行うもの。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		田んぼダム取組面積				単位:ha
基準値/目標値		基準値【R1】(A)		目標値【R8】(B)		
		0ha		300ha		
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	129.4ha	55.7ha	47.1ha		
	達成率(C/B-A)	43.1%	18.6%	15.7%		
累計	実績値(D)	148.0ha	203.6ha	250.8ha		
	達成率(D-A/B-A)	49.3%	67.9%	83.6%		
実績に対する所見等		令和6年度分は47.1ha(累計250.8ha)のほ場について、取り組んだ。				
事業の課題・改善内容等		ロート型堰板設置の田んぼダムは、本町では、鶴巣地区の大和東部及び西川土地改良区域以外は、コンクリート製排水口が整備されておらず、ロート型堰板設置は困難であり、田んぼダム協力農家の理解を得ることが難しいことから、この2箇所ほ場約300ha及び小西川上流部の共同施行で土地改良を実施した鶴巣太田、幕柳地区等へも働きかけを行うもの、また、稲作の作業負担軽減の観点から畦畔等に除草剤を多用する傾向があることから、効果を発揮させるためには畦塗等の支援が必要である。 排水口が整備されていないほ場でも実施してもらうためには、排水口の整備への助成も必要であり、令和5年度から農業環境補整備助金に排水柵整備分を追加措置したもの。				
事業評価 ※1		C: 予定通り達成できた		取組方針 ※2		C: 継続

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	4. ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる
プロジェクト名	(2)安全で安心できるまちづくりプロジェクト
事業名	㊸防犯対策推進事業
所管課	総務課
事業概要	町民が安全・安心して暮らすことのできる町の実現のため、防犯パトロール等を実施するもの。 また、地域の安全・安心の確保と犯罪抑止のための防犯カメラの設置、特殊詐欺対策電話機購入補助、犯罪被害者支援を実施するもの。
事業の内容と実績	防犯カメラは、住民にとっても「見守りカメラ」となるため、犯罪の抑制と住民への安心感を与える効果が期待される。 また、特殊詐欺対策電話機購入補助事業についても、区長会や福祉事業等で周知することにより高齢者等の関心や危機意識を高めるとともに、早期購入に着手することで未然に犯罪を抑止できている。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		防犯カメラ設置個所数				単位:箇所
基準値/目標値		基準値【R1】(A)		目標値【R8】(B)		
		12箇所		26箇所		
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	2箇所	2箇所	2箇所		
	達成率(C/B-A)	14.3%	14.3%	14.3%		
累計	実績値(D)	18箇所	20箇所	22箇所		
	達成率(D-A/B-A)	42.9%	57.1%	71.4%		
実績に対する所見等		毎年度2箇所設置することにしており、関係機関と協議し予定どおりに設置した。単年及び累計の達成度を踏まえ、事業評価を「C」としている。				
事業の課題・改善内容等		平成27年度から防犯カメラの設置事業が始まり、当初設置したカメラの対応年数が経過しているため、機器の状況を踏まえ今後更新が必要となる場合がある。また、毎年2台の設置で進めてきたが、設置台数の検討の必要もある。				
事業評価 ※1		C:予定通り達成できた		取組方針 ※2		C:継続

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	4. ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる
プロジェクト名	(2)安全で安心できるまちづくりプロジェクト
事業名	③⑧公共施設の適正管理(公共施設の長寿命化など)
所管課	財政課
事業概要	施設の長寿命化, 統廃合, 地域ごとの適正配置を検討するもの。
事業の内容と実績	適正な施設の統廃合や修繕, 改修等により長寿命化を図り, 長期的な施設管理に係る経費の平準化及び縮減を図るもの。 小規模ではあるが, 適正な修繕を行い, 施設の長寿命化を図ることができた。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		町民1人当たりの公共施設の延床面積				単位:人
基準値/目標値		基準値【R1】(A)	3.78㎡	/	目標値【R8】(B)	3.78㎡
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	3.90㎡	3.90㎡	3.98㎡		
	達成率(1-C/B)	-3.2%	-3.2%	-5.3%		
累計	実績値(D)	-	-	-	-	-
	達成率	-	-	-	-	-
実績に対する所見等		子育て支援住宅整備による公共施設の延床面積の増加である。 評価基準からすると事業評価は「E」となるが, 今後の公共施設の延べ床面積の減少目標には, 施設の耐用年数(長寿命化を含む)を踏まえた統廃合を検討することとなるため, 短期での実績確認は不可能であることから, 「C」としている。				
事業の課題・改善内容等		子育て支援住宅整備により公共施設が増加しているが, 今後の公共施設の延べ床面積の減少を進めるためには, 施設の耐用年数(長寿命化を含む)を踏まえた統廃合を検討することとなるため, 短期での実績確認は不可能である 現行施設の長寿命化を実施することで使用限界まで使い切り, 施設の更新を要する場合(長寿命化ができない場合)は建て替え一択ではなく, 将来の人口減少等の状況も踏まえて積極的に統廃合等の議論および判断をする必要がある。				
事業評価 ※1		C: 予定通り達成できた		取組方針 ※2	C: 継続	

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

5. 重点プロジェクト(総合戦略)事業の重要業績評価指数(KPI)実績一覧

上段: 単年度
下段: 累計

基本 目標	事業名	目標指標 (単位)	基準 R1	目標 R8	実績 R4	実績 R5	実績 R6	実績 R7	実績 R8	達成度
1 (1)	①農業環境整備事業	水田における作付率(%)	92.2	95	91.3 -	90.7 -	91.1 -	-	-	-39.3% -
	②農業生産基盤整備事業	農地集積率[水田ビジョン](%)	77.6	80	77.6 -	78.2 -	70.5 -	-	-	-295.8% -
1 (2)	③割増商品券発行事業	利用店舗数(店舗)	65	100	5 100	2 102	5 107	-	-	14.3% 120.0%
	④地域産業支援事業	起業・活動促進補助事業の利用件数(件)	10	21	5 16	2 18	5 23	-	-	45.5% 118.2%
	⑤企業立地奨励事業	利用事業所数(事業所/年)	38	40	0 41	0 41	0 41	-	-	0.0% 150.0%
	⑥企業誘致事業	企業立地数[残区画数](区画/年)	4	2	2 -	0 -	0 -	-	-	100.0% -
	⑦雇用機会掘り起し事業	地元雇用者数[黒川高等学校](人)	18	100	35 77	30 107	32 139	-	-	39.0% 147.6%
	⑧中心市街地整備事業(吉岡西部土地区画整理事業)	進捗率(%)	0	70	0 0	12 12	28 40	-	-	40.0% 57.1%
	⑨吉岡小学校改築事業	進捗率(%)	0	100	11 11	6.7 17.7	75.3 93.0	-	-	75.3% 93.0%
2 (1)	⑩学校ICT環境整備事業	デジタル教科書及び問題データベースの利用回数(千回)	209	600	53 378	48 426	45 471	-	-	11.5% 67.0%
	⑪子育て支援住宅整備事業	入居率(%)	70	75	100 -	94.8 -	97.7 -	-	-	130.3% -
	⑫子育て世帯等移住・定住応援事業	事業利用件数(件)	20	57	9 36	10 46	4 50	-	-	10.8% 81.1%
	⑬高等学校等通学応援事業	事業利用者数(人)	345	995	103 613	116 729	118 847	-	-	18.2% 77.2%
	⑭奨学金返還支援事業	事業利用者数(人)			- -	- -	- -	-	-	0.0% 0.0%
	2 (2)	⑮ひとづくりプロジェクト	事業参加児童・生徒数(人)	5,667	25,300	2,347 9,878	3,896 13,774	2,008 13,774	-	-
⑯各種検定料助成事業		受検件数(件)	0	800	- -	- -	- -	-	-	0.0% 0.0%
3 (1)	⑰縁結び応援事業	事業実施による婚姻人数(人)	14	28	4 22	4 26	0 26	-	-	0.0% 85.7%
	⑱地域福祉活動活性化事業	ボランティア登録数(人)	4,304	10,323	1,099 7,136	1,210 8,346	1,196 9,542	-	-	19.9% 87.0%
	⑲あんしん子育て医療費助成事業	助成事業対象者数(人)	3,760	9,000	782 6,017	806 6,823	838 7,661	-	-	16.0% 74.4%
	⑳第3子以降の育児支援事業	第3子以降出生数(人)	262	540	25 371	29 400	33 433	-	-	11.9% 61.5%

上段:単年度
下段:累計

基本 目標	事業名	目標指標 (単位)	基準 R1	目標 R8	実績 R4	実績 R5	実績 R6	実績 R7	実績 R8	達成度 (%)
3 (1)	㉑出産祝い品贈呈 事業	対1,000人当たりの 出生率(%)	7.98	7.98	6.9	7.0	7.1			-11.0%
	㉒病後児保育事業	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	㉓高齢者福祉事業	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	㉔障害者自立支援 給付・地域生活支 援事業	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	㉕健康増進事業	健康教室の参加 人数(人)	12,222	26,000	678	893	710			5.2%
3 (2)	㉖児童支援セン ター運営事業	児童支援センター 利用者数(人)	39,003	71,000	13,527	14,420	15,130			21.1%
					3,631	8,589	8,427			26.3%
	㉗みんなで遊び場 どうじょ	事業参加者数 (人)	29	414	76	283	244			63.4%
4 (1)	㉘にぎわい創出事 業	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	㉙七ツ森湖周辺再 整備事業	四十八滝運動公園 の観光客入込 数(人)	1,419	4,000	258	1,120	830			32.2%
					2,120	3,240	4,070			102.7%
	㉚歴史資源を活用 した観光PR活動	来館者数(人)	0	10,000	2,337	2,838	3,473			34.7%
					6,734	9,572	13,045			130.5%
	㉛県営林道整備事 業負担金	林道延長(km)	46.1	52	50.1	50.1	50.1			67.8%
	㉜スポーツ振興事 業	事業参加者数 (人)	2,968	5,600	2,152	651	479			18.2%
5,120					5,771	6,250			124.7%	
㉝まちづくり人材育 成事業	事業参加人数 (人)	46	250	12	0	125			61.3%	
				150	150	275			112.3%	
4 (2)	㉞公共下水道施設の アセットマネジメント及 び耐震化の推進	公共下水道施設 (汚水)の調査済 延長(m)	0	17,000	16,052	0	0			0.0%
					16,052	16,052	16,052			94.4%
	㉟水害減災プロ ジェクト	公共下水道施設 (雨水)の調査済 延長(m)	0	19,000	6,400	0	0			0.0%
					6,400	6,400	6,400			33.7%
	㊱田んぼダム推進 事業	田んぼダム取組面 積(ha)	0	300	129.4	55.7	47.1			15.7%
					148.0	203.6	250.8			83.6%
㊲防犯対策推進事 業	防犯カメラ設置個 所数(箇所)	12	26	2	2	2			14.3%	
				18	20	22			71.4%	
㊳公共施設の適正 管理(公共施設の 長寿命化など)	町民1人当たりの 公共施設の延床 面積(m ²)	3.78	3.78	3.98	3.98	3.98			-3.2%	
					-	-	-	-	-	-

6. (参考)大和町各種統計資料

項目	単位	H27 (総合戦略策定)	R2 (総合戦略改訂)	R3	R4 (総合計画統合)	R5	R6
人口(年度末)	人	28,485	28,311	28,156	28,098	27,908	27,862
男性	人	14,619	14,605	14,521	14,502	14,452	14,405
女性	人	13,866	13,706	13,635	13,596	13,456	13,457
出生数(年末)	人	323	235	186	196	192	167
世帯数	戸	11,180	12,092	12,148	12,342	12,481	12,628
町内製造業 従業者数	人	5,785	7,310	8,677	9,057	9,415	—
うち町民	人	—	1,274	1,305	1,385	1,545	1,401
町税総収入額	千円	5,009,534	6,096,812	5,903,931	7,163,871	6,205,962	5,320,212
純固定資産税	千円	2,625,396	3,705,479	3,821,206	3,921,304	4,083,272	4,292,324
住民税(個人)	千円	1,208,677	1,384,703	1,381,827	1,415,980	1,449,249	1,356,342
(法人)	千円	729,676	1,131,304	919,795	1,959,569	586,437	367,247
水稻作付面積	ha	1,427.00	1,395.00	1,336	1,217	1,216	1,226
生産調整面積	ha	860.4	798.3	870.4	976.8	979.1	959.2
経営所得安定 対策対象数	戸	577	114	125	155	131	122
集団転作面積	ha	460.3	440	496.8	520.5	516.8	526.3
給水人口	人	27,023	27,088	26,974	26,980	26,845	26,911
給水戸数	戸	10,622	11,618	11,671	11,889	12,026	12,218
年間給水量	m ³	2,920,059	3,023,676	3,018,545	3,053,184	3,028,153	3,032,485